

Kurashiki・Soja
倉敷・総社圏版

福井市日之出地区から真備に

がんばろう!! 箭田

支援金、応援旗届く

西日本豪雨

西日本豪雨で被災した倉敷市真備町箭田の箭田地区まちづくり推進協議会（山口敦志会長）と交流を続けている福井市日之出地区から20日、支援金や励ましのメッセージなどが同推進協に届けられた。

両地区は、2004年に福井市で開かれたまちづくり全国交流大会に同推進協が参加し

福井市日之出地区の住民や児童らによる復興を願う激励のメッセージと千羽鶴＝真備公民館箭田分館



たのを機に、相互訪問して交流。今年2月には箭田小児童が福井市を訪れ、日之出地区の子どもたちとスキーを楽しんだ。7月には日之出地区の住民が箭田地区の夏祭りに参加する予定だったが、豪雨で中止になった。

被災を知った日之出地区の「ひのでまちづくり協議会」の山田年克会長らが、箭田地区を支援しようと募金活動を行ったほか、住民や日之出小児童らが、千羽鶴や「頑張って」「また一緒に遊ぼう」といったメッセージを

寄せ書きした応援旗を作った。

こうした住民らの思いを携えて山田会長や日之出小の吉田和美校長ら5人が20日、真備公民館箭田分館（倉敷市真備町箭田）を訪問。同推進協と箭田小に計120万円を贈ったほか、千羽鶴と応援旗、日之出小児童が応援歌を合唱したCDも届けた。

一行は被災した箭田小校舎や住宅、二万小敷地内の箭田小プレハブ校舎なども視察。吉田校長は「大きな被害に驚くばかり。日之出小の児童は心配し、箭田小の子どもらを励まそうと、率先して募金や寄せ書きに協力してくれた。復興に向けて頑張ってほしい」とエールを送っていた。

（山崎隆夫）